

報告第4号

データヘルス計画に基づく保健事業実施状況について

データヘルス計画に基づく令和7年度保健事業実施状況について報告するものである。

令和8年2月10日

公立学校共済組合岩手支部
支部長 佐藤 一 男

第3期データヘルス計画の概要

1 データヘルス計画とは

データヘルス計画とは、医療機関を受診した際のレセプトデータや特定健康診査（以下「特定健診」という。）等のデータを分析し、そこから見えてくる健康課題に基づき既存事業の効果を検証し、健康情報の管理及び分析並びに活用をPDCAサイクルとして年間事業計画へ組み込み、より効果的な保健事業を実施するための計画であり、公立学校共済組合においても平成27年度から開始している。

「第1期データヘルス計画」は平成27年度から平成29年度まで、「第2期データヘルス計画」は平成30年度から令和5年度まで、「第3期データヘルス計画」は令和6年度から令和11年度までとなっており、岩手支部（以下「当支部」という。）においても令和5年度に「第3期データヘルス計画」を策定し、令和6年度より計画に基づく事業を実施している。

2 当支部の健康課題

第3期データヘルス計画策定に当たり、第2期データヘルス計画における保健事業の実施実績や医療費等の分析を行い、当支部における健康課題及び保健事業の方向性を整理しました。

当支部の健康課題		保健事業の方向性	
生活習慣病	1	被扶養者の特定健康診査受診率が低く、受診を促すことが課題。	①生活習慣病の予防及び重症化予防を進める。 ②運動、食事、飲酒に関する生活習慣改善を促す。 ③若年層からの健康づくりを進める。 ④コラボヘルスの推進。
	2	特定保健指導の実施率が目標値に達していないため、対象者の行動変容を促すことが課題。	
	3	全支部平均に比べて生活習慣病に係る一人当たり医療費が高く、「高血圧症」、「糖尿病」、「脂質異常症」、「腎不全」が相対的に高い。	
	4	血圧、肝機能のリスク割合が高い。	
	5	全支部平均に比べて脳疾患（くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、その他の脳血管疾患）に係る一人当たり医療費が高い。	
	6	生活習慣に関しては、運動習慣、食事習慣、飲酒量のリスク割合が高い。	
悪性新生物	1	全支部平均に比べて悪性新生物に係る一人当たり医療費が高く、増加傾向である。	①がんの予防及び重症化予防を進める。
	2	医療費の内訳は、「乳房の悪性新生物」が最も高く、次いで「気管、気管支及び肺の悪性新生物」となっている。	
精神の疾病	1	全支部平均に比べて精神の疾病に係る一人当たり医療費が高い傾向にある。特に若年層（25～39歳）が相対的に高い。	①有病者を増やさない・減らす、悪化者を増やさない・減らす対策の取組強化。 ②コラボヘルスの推進。
	2	精神疾患による長期療養者（6ヶ月以上）は増加傾向にある。	

3 共通の評価指標

第3期データヘルス計画では、公立学校共済組合全体で重点的に取り組む事項を設定し、それに対する共通の評価指標を導入しました。これにより、各支部が行った効果的な保健事業とその工夫について共有し、事業の実効性向上につなげることができます。

公立学校共済組合が定める重点取組事項及びそれに対する当支部の実施計画は次のとおりです。

	事業名	評価指標 上段：アウトプット指標/下段：アウトカム指標	目標値					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
1	コラボヘルスの推進	健康スコアリングレポート等配布率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		内臓脂肪症候群該当者割合	14%	13%	13%	12%	11%	10%
2	若年層への健康リテラシー向上及び健康づくり	若年層の健診情報受領率	0%	80%	90%	90%	90%	100%
		特定保健指導対象者割合	15%	15%	15%	15%	15%	12%
3	特定健康診査	特定健康診査実施率	90%	90%	90%	90%	90%	90%
		内臓脂肪症候群該当者割合	14%	13%	13%	12%	11%	10%
4	特定保健指導	特定保健指導実施率	40%	44%	48%	52%	56%	60%
		特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	27%	30%	32%	35%	38%	40%
5	人間ドックの効果的・効率的な実施	受診勧奨対象者の医療機関受診率	0%	0%	5%	8%	11%	15%
		受診勧奨対象者割合	0%	0%	20%	19%	18%	17%
6	5大がん検診の効果的・効率的な実施	5大がん精密検査受診率	0%	0%	5%	8%	11%	15%
		※						

※ がんの治療においては、保険者の取り組みでの関与が難しいためアウトカム指標は設定しません。

4 第3期データヘルス計画における当支部の方向性

保健事業の目的と目標については次のとおりとし、共通の評価指標で示す目標値達成に向けて事業を実施・見直し等を行っていきます。

なお、保健事業の実施状況については、支部運営審議会において報告します。

● 事業全体の目的

「高血圧」や「糖尿病」等の生活習慣病リスク保有者の減少を優先し、生活習慣病における一人当たり医療費を低減させることを目的とする。

そのために早期に生活改善を促し、悪化させないために特定保健指導実施率向上を目指す。併せてリスク保有者の発生を抑えるため、若年層からの健康づくりを行う。

● 事業全体の目標

- ・ 他の疾病と比較して特に高額となっている「高血圧」及び「糖尿病」の一人当たり医療費を減少させる。
- ・ 特定保健指導の対象となる40歳時点の対象者を減らし、全体の特定保健指導利用率を向上させる。
- ・ 事業主への定期的な情報提供により、事業参加への理解を深め、教職員の健康課題の共有を図る。

3 第3期データヘルス計画に基づく令和7年度保健事業実施状況について

(令和7年12月31日現在)

健康課題	事業		事業内容等	実施主体	対象者						実施時期	実施状況（★は令和7年度新規または変更点）
	No	名称			被保険者		被扶養者		任継			
					性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢		
生活習慣病	1	特定健康診査	40歳以上75歳未満の組合員等を対象に生活習慣病関連項目の健診を実施。組合員は定期健康診断や人間ドックと併せて実施し、被扶養者及び任意継続組合員には受診券を配布し実施。	共済	男女	40歳以上	男女	40歳以上	男女	40歳以上	4～3月	<ul style="list-style-type: none"> 公立学校共済組合本部が定める目標実施率：90%（令和11年度まで） 岩手支部の令和7年度目標実施率：90% 【組合員】対象者数：9,352名、受診者数：9,009名（96.3%） 【被扶養者等】対象者数：2,099名、受診者数：854名（40.7%） 【計】対象者数：11,451名、受診者数：9,863名（86.1%）
	2	特定保健指導	特定健康診査受診者のうち、生活習慣病発症リスクが高い組合員等を対象に、専門相談員（保健師、管理栄養士等）による生活習慣改善の支援を実施。支援はリスクに応じ「動機付け支援」、「積極的支援」の2種類。支援の期間は3～6ヵ月。	共済	男女	40歳以上の特定保健指導該当者	男女	40歳以上の特定保健指導該当者	男女	40歳以上の特定保健指導該当者	初回面談11～3月（初回面談後3～6ヶ月間継続実施）	<ul style="list-style-type: none"> 公立学校共済組合本部が定める目標実施率：60%（令和11年度まで） 岩手支部の申込状況（令和7年度目標実施率：48%） 【注】初回面談後、3～6ヵ月間の支援及び評価終了者数が実施率に反映されるもの。 【組合員】対象者数：1,595名、希望者数：821名（51.5%） 【被扶養者等】対象者数：41名、希望者数：10名（24.4%） 【計】対象者数：1,636名、希望者数：831名（50.8%） ・組合員は、所属で初回面談を行う「所属一括型」、対面で初回面談を行う「対面型」、スマートフォン等を使用し遠隔で初回面談を行う「ICT型」（いずれも本部一括契約）の他、人間ドック受診時に初回面談を実施。 ・被扶養者・任継は、集合契約による実施の他、対象者が希望する場所で初回面談を行う「個別調整型」、スマートフォン等を使用し遠隔で初回面談を行う「ICT型」、予防協のランチ付プログラムを実施。
	3	1泊2日人間ドック（脳ドック付き含む）	疾病の早期発見、早期治療により適切な健康管理に資するため実施。	共済	男女	40歳以上奇数年齢	-	-	男女	全て	7～2月	<ul style="list-style-type: none"> ★R7～実施医療機関の減（県立宮古、県立二戸） ・実施医療機関：3機関（東北中央、盛岡市立、盛岡赤十字） ・定員：40歳以上 定員：420名（うち脳ドック付き330名）、希望者数：662名（うち脳ドック付き552名） 任継 定員：20名（うち脳ドック付き20名）、希望者数：38名（うち脳ドック付き38名）
	4	1日人間ドック（脳ドック付き含む）	疾病の早期発見、早期治療により適切な健康管理に資するため実施。	共済	男女	40歳以上奇数年齢39歳以下	-	-	男女	全て	7～2月	<ul style="list-style-type: none"> ・実施医療機関：40歳以上 4機関（予防協、盛岡赤十字、対がん、北上済生会） 39歳以下 6機関（盛岡南、松園第二、滝沢中央、北上済生会、予防協、対がん） 任継 3機関（松園第二、滝沢中央、予防協） ・定員：40歳以上 定員：355名（うち脳ドック付き250名）、希望者：870名 39歳以下 定員：170名、希望者：175名 任継 定員：40名、希望者：50名
	5	指定年齢人間ドック	若年層の健康増進及び将来に向けた生活習慣病等の予防を目的として実施。	共済	男女	35歳	-	-	-	-	6～2月	<ul style="list-style-type: none"> ・実施医療機関：2機関（予防協、対がん協会） ・受診対象者数：258名、受診希望者数：206名、受診者数：159名（61.6%）
	6	脳ドック	脳疾患の早期発見、早期治療により適切な健康管理に資するため実施。	共済	男女	40歳以上偶数年齢	-	-	男女	40歳以上	7～2月	<ul style="list-style-type: none"> ・実施医療機関：6機関（東北中央、盛岡市立、盛岡赤十字、北上済生会、松園第二、釜石せいてつ記念病院） ・定員：560名、希望者数：957名
	7	定期健康診断付加健診	定期健康診断と併せて実施し健診の充実を図る。《検査項目》血液検査4項目（ALP、総コレステロール、白血球、血小板）	共済	男女	40歳以上偶数年齢	-	-	-	-	4～10月	<ul style="list-style-type: none"> ・血液検査4項目 受診対象者数：4,856名、受診者数：4,390名（90.4%）
	8	ロックスインデックス検査	今後10年以内の脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを評価する検査を実施。（採血検査）35歳の組合員は指定年齢人間ドックと併せて実施。44歳の組合員は定期健康診断付加健診事業として定期健康診断と併せて実施。	共済	男女	35歳44歳	-	-	-	-	6～2月（44歳）4～10月	<ul style="list-style-type: none"> ・【35歳】受診対象者数：258名、受診者数：159名（61.6%） ＜リスク高 7名（4.4%）、中高 7名（4.4%）、中 16名（10.1%）、低 129名（81.1%）＞ ・【44歳】受診対象者数：262名、受診者数：256名（97.7%） ＜リスク高 7名（2.7%）、中高 11名（3.9%）、中 27名（10.5%）、低 212名（82.8%）＞
	9	eGFR測定	定期健康診断時に実施し、慢性腎臓病の早期発見早期治療を促す。	県	男女	すべて	-	-	-	-	4～8月	<ul style="list-style-type: none"> 〔参考〕事務局、県立学校の実施状況 ・対象者数：4,773名、受診者数4,545名（95.2%）＜軽度所見521名（11.5%）、異常所見43名（0.9%）＞
	10	腹部超音波検査等健診	定期健康診断時に対応できない健診項目について実施検診の充実を図る。《検査項目》腹部超音波検査（肝・胆・腎・膵・脾）眼圧検査、骨強度検査（女性のみ）	共済	男女	40歳以上偶数年齢	-	-	-	-	12～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者数：4,781名、受診決定者数：1,953名（40.8%）
	11	特定健康診査受診者への個別通知	生活習慣改善の意識啓発を目的として、個別の健診結果情報冊子を配付。	共済	男女	40歳以上	-	-	-	-	10～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・「QUPiOPlus(クビオプラス)」（個人ごとに健診結果を分析し、個々に応じた健康情報をまとめた冊子。本部一括契約。）を配付。
	12	健康管理講座	健康管理意識の向上や、生活習慣病等の予防や解消を目的として、組合員を対象とした講座を開催し、食事指導、運動指導、健康講話を実施。	共済	男女	全て	-	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期講座（参集） 【1日目】（参加者：74名）RIZAP株式会社による「睡眠編」及び「運動 筋力低下予防編」 【2日目】（参加者：53名） 盛岡市歯科医師会派遣講師による「歯科衛生と全身の病気との関係について」 東北中央病院派遣講師による「中高年のくび・腰の痛み」及び「脂質異常ってどうということ？食事で改善しよう」 ・オンライン動画配信講座 【6月期】株式会社タニタヘルスリンク「こころのセルフコンディショニング」（受講者59名） 【夏期】株式会社ルネサンス「眼精疲労すっきりセミナー」（受講者95名）、株式会社タニタヘルスリンク「仕事効率をアップさせるための食事術」（受講者58名） 【冬期】株式会社ルネサンス「からだマネジメントセミナー ～生活習慣改善編～」（受講者79名）、株式会社タニタヘルスリンク「分かっちゃいるけど、やめられない ちょっと耳よりな話」（受講者44名）
	13	若年層のヘルスサポート事業	35歳指定年齢人間ドック受診者のうち、生活習慣病リスクの高い者に保健指導を実施。	共済	男女	35歳指定年齢人間ドック受診者の該当者	-	-	-	-	初回面談9～3月（初回面談後3ヶ月間継続実施）	<ul style="list-style-type: none"> ★R7～委託先の減（RIZAP（株）） 委託先：SOMPOヘルスサポート（株）、ベネフィット・ワン（株）、予防協 対象者数：10名、希望者数：1名（10.0%）

3 第3期データヘルス計画に基づく令和7年度保健事業実施状況について

(令和7年12月31日現在)

健康課題	事業		事業内容等	実施主体	対象者						実施時期	実施状況（★は令和7年度新規または変更点）
	No	名称			被保険者		被扶養者		任継			
					性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢		
悪性新生物	14	胃検診（バリウム検査）	各事業主で実施。	県市町村	男女	35歳以上	-	-	-	-	4～1月	〔参考〕事務局、県立学校の実施状況 ・対象者数：3,378名、受診者数：2,688名（79.6%）≪要経過観察438名（16.3%）、要精密検査63名（2.3%）≫
		胃部内視鏡検診	県で実施。	県	男女	40歳以上	-	-	-	-	7～2月	〔参考〕県立学校の実施状況 ・希望者：105名、受診者数：72名（68.6%）≪要経過観察21名（29.2%）、要精密検査2名（2.8%）≫
	15	ピロリ菌抗体検査	胃がんや慢性胃炎のリスクを高めるといわれている「ピロリ菌」感染の有無を調べ、疾病発症リスクの低下を促すため、定期健康診断付加健診事業として定期健康診断と併せて実施。（採血検査）	共済	男女	40歳	-	-	-	-	4～10月	・対象者数：193名、受診者数：186名（96.4%）≪異常所見28名（15.1%）≫
	16	大腸がん検診	県で実施。	県	男女	35歳以上	-	-	-	-	4～1月	〔参考〕事務局、県立・小中義務教育学校の実施状況 ・対象者数：9,584名、受診者数：8,276名（86.4%）≪要精密検査357名（4.3%）≫
	17	肺がん健診（胸部X線読影）	県で実施。	県	男女	40歳以上	-	-	-	-	4～8月	〔参考〕事務局、県立・小中義務教育学校の実施状況 ・対象者数：9,052名、受診者数：8,350名（92.2%）≪軽度所見202名（2.4%）、異常所見116名（1.4%）≫
		男女			50歳以上	-	-	-	-	〔参考〕事務局、県立・小中義務教育学校の実施状況 ・受診者数：197名≪軽度所見0名（0%）、要精密検査0名（0%）≫		
	18	乳がん検診（マンモグラフィ検査）	県で実施。	県	女	40歳以上奇数年齢	-	-	-	-	9～12月	〔参考〕事務局、県立・小中義務教育学校の実施状況 ・対象者数：2,304名、受診者数：1,384名（60.1%）≪軽度所見23名（1.7%）、異常所見34名（2.5%）≫
	19	乳がんエコー検査	乳がんの早期発見及び早期治療を目的として、当該年代に有効とされている超音波検査を実施。県で実施している乳がん検診と併せて、検診車による巡回検診を実施。	共済	女	30歳以上39歳以下奇数年齢	女	30歳以上39歳以下奇数年齢	女	30歳以上39歳以下奇数年齢	9～12月	【組合員】 対象者数：494名、受診者数：224名（45.3%） 【被扶養者等】 対象者数：91名、受診者数：36名（39.6%） 【計】 対象者数：585名、受診者数：260名（44.4%）
	20	子宮頸がん検診	県で実施。	県	女	20歳以上奇数年齢	-	-	-	-	7～1月	〔参考〕事務局、県立・小中義務教育学校の実施状況（R7年12月末現在判明分） ・対象者数：3,305名、受診者数：1,217名（36.8%）≪要経過観察87名（7.1%）、要精密検査53名（4.4%）≫
21	前立腺検査	県で実施。	県	男	50歳以上	-	-	-	-	4～8月	〔参考〕事務局、県立・小中義務教育学校の実施状況 ・対象者数：3,110名、受診者数：3,032名（97.5%）≪軽度所見93名（3.1%）、異常所見109名（3.6%）≫	
精神の疾病	22	こころの健康相談室	心の健康保持増進のため、専門医が対応する相談室を開設する。 ・開設機関：県立南光、大船渡、一戸病院、せいわ病院	共済	男女	すべて	-	-	-	-	4～3月	・委託契約により次の4医療機関で実施 県立南光病院、県立大船渡病院、県立一戸病院、未来の風せいわ病院 ・実施人数：5名
	23	心とからだの巡回健康相談	教職員の心やからだの悩みの相談に応じ、適切な保健指導を行い、疾病の予防、早期発見、早期治療につなげ、教職員の健康の維持増進を図るため、県内各地域、学校等を巡回し相談に対応。	県共済	男女	すべて	-	-	-	-	4～3月	・実施回数：217回 ・相談延件数：917件（沿岸地域653件） ※令和7年12月末現在
	24	スーパーバイザー（専門医等）によるメンタルヘルス相談事業	震災後のメンタルヘルスクエアについて専門医等から指導・助言を得て、施策や相談体制の強化を図る。 ・学校等巡回相談（個別相談等） ・施策への助言指導等（ケースカンファレンス含む）	県	男女	すべて	-	-	-	-	9～11月	・個別相談 3回 14件
	25	専門医等によるメンタルヘルス相談	メンタルヘルスの不調を抱える教職員やその管理職等の相談対応にあたり、専門的な助言を必要とする場面も多いことから、通年で専門医等（精神科医・臨床心理士）の指導・助言を受けることができる体制を整備し、教職員の心身の健康の保持増進を図る。	県	男女	すべて	-	-	-	-	4～3月	・専門医等によるメンタルヘルス相談窓口を開設し、個別相談等実施（年9回を予定） 実施件数 8件（令和7年12月末現在）
	26	心と体の健康づくり支援事業	所属等で組合員の心身の健康づくりに関する研修会等を開催する場合には、講師謝金及び旅費を負担する。	共済	男女	すべて	-	-	-	-	4～3月	・10件（うち直営病院からの講師派遣事業を利用 7件）
	27	メンタルヘルスセミナー	メンタルヘルスに関する基礎知識を習得するとともに、職場におけるメンタルヘルスクエアの重要性について理解を深め、相互支援できる職場環境の醸成に資するため、広く参加できるセミナーを開催する。	県	男女	すべて	-	-	-	-	6～9月	・教職員のためのメンタルヘルスセミナー（県内2ヶ所（盛岡、大船渡）で開催 81名の参加） 【盛岡】 演題：「みんなでストレスマネジメント・セルフケアについて学ぼう」 講師：公立学校共済組合東北中央病院 主任臨床心理士・公認心理師 古澤あや 【大船渡】 演題：「セルフケア～自分を知りリソースを活用する」 講師：岩手県立大学社会福祉学部人間福祉学科 准教授 菊地学 ・管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー（出席者 93名） 演題：「教職員のこころの健康～ラインによるケアの充実のために～」 講師：公立学校共済組合東北中央病院 主任臨床心理士・公認心理師 古澤あや ・管理監督者のためのメンタルヘルス実践セミナー（出席者 60名） 演題：「メンタルヘルス上の困難を抱える教員の支援について～グループワークを活用したケーススタディ～」 講師：未来の風せいわ病院 理事長 智田文徳 精神保健福祉士 駿河孝史